

《補足説明資料》 第4次計画の体系図(案)

計画の名称：  
テーマ：

方向性：

子ども読書プラン  
～本がはぐくむ子どもの未来～

子どもが読書の楽しさや知る喜びを実感することにより、自ら進んで読書に親しみ、心豊かに成長することをめざす

〈基本目標〉

〈施策〉

〈主な取組内容〉

(1) 家庭で読書と出会う環境づくり	①「ブックスタート」「セカンドブック」の継続 ②保護者へのはたらきかけ ③妊娠期からのきっかけづくり ④家庭での読書時間の確保	■家庭での読書がとぎれないよう、「ブックスタート」「セカンドブック」の継続 ■読み聞かせのコツやおすすめの本のリスト等の紹介 ■妊娠期からの読書の大切さを伝え、親しんでもらうための啓発 ■家族ぐるみで読書を楽しむ雰囲気づくり、ゲーム・インターネット等利用時間のルールづくり	【重点】
--------------------	--	---	------

(2) 地域で読書に親しむ環境づくり	①地域に本がある環境づくり ②放課後に本がある環境づくり	■地域で身近に読書に親しむ場の提供 ■子どもの年齢や発達に応じたアドバイザー ■子どもが本にふれる機会を増やす ■読書に親しむ環境を整える	
--------------------	---------------------------------	--	--

(3) 保育所・幼稚園等で読書に親しむ環境づくり	①日常的な読み聞かせの継続 ②絵本コーナーの充実 ③保護者へのはたらきかけ	■子どもの成長に合わせた日常的な読み聞かせ ■一人ひとりの子どもに合わせて本が選べる絵本コーナーの充実 ■定期的な絵本の貸出し ■読書習慣の大切さを伝える	【重点】
--------------------------	---	---	------

(4) 学校で読書を定着させる環境づくり	①司書教諭と学校司書の連携 ②蔵書の更新 ③本を手に取りやすい環境づくり ④読書活動の推進 ⑤市民に開かれた学校図書館づくり	■子どもの自主的な読書活動をさらに推進 ■計画的な蔵書の収集・更新 ■親しみやすく利用しやすい図書館づくり ■本と親しみ、読書習慣を身につける ■図書委員会が中心となったさまざまな読書活動の推進 ■地域住民の学びの場づくり(学校図書館の開放)	【重点】
----------------------	--	---	------

(5) 市立図書館等での環境づくり	①本と気持ちよく出会う場づくり ②児童書の収集・更新 ③さまざまなイベントの展開 ④中・高校生へのはたらきかけ ⑤支援が必要な子どもへのサービスの充実	■来館しやすい雰囲気づくり ■児童書の収集・更新 ■調べ学習に活かせる資料の充実 ■さまざまな角度からの本との出会いの場を提供 ■読書へのさらなる興味・関心を高める ■電子図書館サービスの利用促進 ■布絵本や点字絵本、外国語絵本等の多様な資料の収集	【重点】
-------------------	---	--	------

「さまざまな場面(機会)で読書と出会い、楽しむ幅広い環境づくり」

【基本目標①】

(1) 家庭へのはたらきかけを強化	①保育所・幼稚園等から家庭へ ②読書ボランティアから家庭へ ③学校から家庭へ ④市立図書館等から家庭へ	■読書に関するイベント情報等の提供 ■家庭や地域の中で本とふれあう機会をつくる ■家庭での読書の定着を図る ■子どもの読書に関する啓発冊子の作成 ■身近に本と親しめるよう、読み聞かせ等の取組を推進	
-------------------	--	---	--

(2) 保育所・幼稚園等と読書ボランティアをつなぐ	①読書ボランティアとの連携	■保育所・幼稚園等と読書ボランティアの交流や連携	
---------------------------	---------------	--------------------------	--

(3) 学校との連携をさらに推進	①読書ボランティアとの連携 ②保育所・幼稚園等との連携 ③市立図書館等との連携 ④その他の施設との連携	■「朝の読書」や「おはなし会」を今後も継続 ■保護者向けの啓発 ■子ども同士の交流をとおして、読書活動を広げる ■学校からの要望を踏まえた「貸出し ■学校やPTA・PTA等の導入 ■市立図書館利用案内の配布 ■バリアフリーを活用した電子図書館づくりの利用促進 ■高校生の読書活動を広げる、「学童保育所でのおはなし会」や高校生による読み聞かせ	【重点】
------------------	--	---	------

(4) 市立図書館等との共創	①保育所・幼稚園等への支援 ②読書ボランティアの連携と支援 ③市立図書館と学校図書館の連携 ④他の公共施設との連携	■読書活動に関する情報の提供 ■「読書ボランティア同交流会」や「地域文庫連絡会」等の充実 ■活動の場をさらに広げる ■子どもの読書活動に功績のある団体や人材を顕彰 ■連携し情報交換等を積極的に行う ■各施設との相乗効果を意識したイベントや相互PR ■市立図書館との連携によるコーナーの充実	【重点】
----------------	--	---	------

「さまざまな人(機関)とのネットワーク」と「共創」

【基本目標②】

(1) 新たな読書人材への対応	①電子図書館サービスの普及	■電子図書館サービスの充実 ■電子図書館サービスの広報・周知	【重点】
(2) 魅力や情報の発信	①ホームページやSNS等の充実 ②広報紙・ポスターでPR強化 ③メディアへの情報提供	■わかりやすく、親しみやすい情報提供 ■市立図書館のSNSを開設 ■おすすめの本の紹介やイベントのPR ■より伝わりやすい紙面づくり ■各種メディアへの情報提供による魅力発信	【重点】
(3) 新たな人材の発掘・育成	①読書ボランティアの養成	■新しい人材の確保や担い手づくりを支援	【重点】

(4) 資源をフルに活かし、新たな連携	①大学との連携を促進 ②企業との連携促進	■大学のさまざまな知識や技術を活かす(官学連携イベント等) ■市立図書館の「雑誌スポンサー制度」の拡充 ■「社史」や「企業紹介ウェブサイト」等の収集	
---------------------	-------------------------	---	--

(5) 利用しやすい図書館づくり	①「古賀の誇り」コーナーの充実 ②企画展示コーナーの充実 ③子どもが気軽に利用できる図書館へ ④「こがめルーム」の活用	■郷土資料コーナーをさらに充実 ■子どもが読書に興味を持つような企画展示コーナーの充実 ■乳幼児が利用しやすい時間帯を設定する「赤ちゃんタイム」等の取組 ■おはなし会のほか、調べ学習や絵本を読み合えるスペースとして活用	
------------------	--	--	--

「さまざまな手段(手法)による『新たな時代』への対応」

【基本目標③】